

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント になろう

第 2628回 例会
平成28年 4月 8日 (金)
天候 晴れ
合唱 奉仕の理想
四つのテスト

会 長 佐藤 泰文
幹 事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

今日の卓話は、3人のロータリーに入会して良いこと、悪いことへの思いのお話です。

何年か前にインド・コルタカ、以前のカルカッタでマザー・テレサにお目にかかる機会がありました。彼女は並外れた人格者で、彼女が通りを歩けば「十戒」の紅海のように、群衆は道を開けました。しかし、会話の中で自分の功績に触れられても、その話題に関心を示すことは殆どありませんでした。事実、「私はトイレ掃除のエキスパートです」と答えたということが、多くの報告に残されています。この答えはユーモアがありながら、極めて重要です。彼女の仕事は他者を気遣うことです。トイレは清潔であるべきなので、彼女は掃除をしたのです。取るに足りない仕事です。しかし、助けを必要とする人に救いの手を差し伸べる彼女の活動に勝るもの、より大きなものなど、この世には存在しません。私は、人がやらないような仕事でも、自らの手で誠心誠意、額に汗して取り組むことができます。そうすることが、この世で最も意義ある活動『プレゼント』です。

(ラビンドランRI会長のメッセージです。)

幹事報告

幹事報告 無し

連絡事項 無し

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 1(免除者 0名)		出席率 95.83%
	前回の修正出席率 87.50%		前々回の修正出席率 86.36%

事前メイクアップ 0名

スマイルBOX

夫人誕生日 高橋延幸君 (知代様・3/18)
夫人誕生日 山本明峰君 (和美様・4/10)
入会記念日 小松雄成君 (31年・S59.4.13)
佐藤泰文君・山本明峰君
釈迦降誕会を祝して
深澤昌光君・山本明峰君
第86回土肥祭・武者行列無事終了する事ができました。皆様方のおかげと感謝いたしております。
望月博文君 今月号のガバナー月信にPETSでの写真が掲載されました。



会長挨拶



例会風景

卓 話

高知尾朝行 君

1975年1月に29歳で入会し、3週間であつたと思つた。当時、一番歳の近い会員は伊藤邦彦さんだつた。

入会翌年に副S.A.Aとなり、高橋柳吉さんからプログラムを作るように指示され、苦労した。更に翌年にはS.A.Aと社会奉仕委員長を兼務した。

会長を務めた翌年に分区(当時)の委員をやられるが、ほとんど出なければ、二度とやられない。

天野弘之さんから教わつた『親睦第一』を座右の銘にして、親睦に励んでいる。



渡辺久恭 君

私が湯河原ロータリークラブに入ったのは、2006年(平成18年2月3日)で、スポンサーは高杉尚男さんと高橋延幸君です。仕事でお客様である、高杉さんに誘われ、私には不釣り合いではないかと、非常に不安でしたが、メンバーの皆さんが、いい人達で、意外に早く溶け込めたのではないかと思います。湯河原ロータリークラブに入れて頂き、本当に感謝しています。10年間の間に、湯河原ロータリークラブのメンバーをはじめとして、2780地区の多くの方々と知り合いになれました、私にとって、すごい財産だと思つた。

また、会長の時の会長挨拶では、渡邊彩香プロの話はかなり出していたので、メンバーの皆様にはかなり、浸透したような気がします。

提携クラブの立山ロータリークラブ25周年記念式典での挨拶では、湯河原ロータリークラブのメンバーの皆様にお助けられ、無事にこなすことが出来ました。生涯忘れないでしょう。本当に有難う御座いました。

でも、卓話が廻つて来るとやはり、苦痛です。有難う御座いました。



高杉尚男 君

私の湯河原RC入会は、「1998～1999年」37代林会長の年度に40歳で入会させて頂きました。入会時のメンバーでは1歳下のK会員が私よりちょっと前に入会されており、他に40歳代の先輩は佐藤会長・佐東(丈)・平間会員がいられたのですが、何となくでもない所に飛び込んでしまった。しまったと思つたのが入会時の第一印象でした。推薦人の岩井・空本大先輩・優しい杉山会員、週1回美味しい昼ごはんを食べただけだからと、話が違い過ぎます。手遅れでした・・・。

なんせ、当時はまだ会社を創業して5年目、一人息子も小学校低学年、会社はまだ社員数名のヨチヨチ歩き、自分なんかが入る所じゃない。しかし今さら逃げ出す訳にもいかない。そんな心理状態だつたと思ひ出されます。そんな私の不安を察してか、岩井推薦人・大学の先輩の向笠会員のお二人が、毎週私を迎えに来てくれ、向笠先輩の自動車に乗せられ、まるで幼稚園の不登校園児のようなものでした。

と言うのも、当時は例会場が天野屋旅館さん。あの赤い欄干の橋を渡って銘木旅館の正面玄関に入るわけですが、そこに御当主の天野チャーターメンバーが、椅子に座ってお出迎えしてくれる訳です・・・。ここに笑顔で、「君は誰でしたっけ？」なんて言われると、「今度入会させて頂いた高杉と申します」が精一杯の受け答えでした。

後年、天野家には娘さん達を始め大変お世話になるのですが、当時は本当に雲の上の存在でした。現在、天野屋さんの跡地はリゾートトラストが来年3月のエキシブの開業をめざして、建設工事の真最中ではございますが、一余一言・・・職業奉仕の精神は貫いたつもりです。

そして、玄関から趣のある廊下を通り階段を上ると例会場です。ここの例会場が新人にとっては、又なんとも緊張させられる雰囲気なのです。

今現在ここにいられる私より先輩の方々は、我が家のように、ここに他のメンバーの方々と談笑されてますが、同年代のK会員はドクターで忙しくめつたに出席されませんでしたので、私は一人ぼっちで心細い思いでした。

そんな、例会場が当ウェルシティに移つたのが、「2004～2005年」の西山年度でした。

今ではこの大きい顔で入会して17年、クラブライフを楽しませて頂いておりますが、当時は初々しい新入会員ではなかったのかと思ひます。ここにいられる先輩メンバーの方々は優しい方々ばかりですが、入会当時ここに居られないもっと年配のベテランの方々の雰囲気は、近寄り難いものがありました。

しかししかし、ここに居られる優しい先輩方の親切な指導を受け、親睦委員から色々な事を経験させて頂き、週報の原稿起こしには大変な思いも致しましたが、やっとクラブの雰囲気に慣れたのは、入会してどの位たつた頃でしたでしょうか。ちょっと今では思ひ出すこともできません。

そして、私が入会した時の会員数は34名でしたが、その後現在在籍の会員が入会するまでの2年間の空白(入会・退会)があり、更に又2年間入会はなく、渡辺会員が入会される平成18年まで会員数は減少しつづけ、その後平成20年には最少の21名の会員数となりました。

そんな会員数なので、次から次へと正にロータリーのごとく役職が回つてきました。(飛ぶ鳥も落ちちやうような勢い・・・)

まずは、平間年度の幹事を皮切りに、IMでは土屋会員と寸劇の舞台に、

そして、48歳の時に45代会長として45周年事業を務め、更に「2008～2009年」の山路ガバナー年度には、入会してまだ10年たらずの私がなんと地区の副幹事を仰せつかる羽目に。そして、50代伊藤会長の下、50周年の実行委員長をさせて頂く等々・・・。

大きいクラブでは10年でやっと親睦委員長なんてのがざらなのに、小さいクラブ故の最大限の特徴とも言える、色々な経験を積みさせて頂ける恵まれた環境と思えば、何も大きければ良いと言う訳ではなく、物理的に湯河原クラブは多数の会員増を望めないエリアですから、小さいクラブなりの家庭的なこの雰囲気を大切にすることも大事なことに思ひます。

最後に、過去の栄光・自慢話等々は嫌われますが、決して自慢話をしたいのではなく、この華麗なるロータリー歴をお話したのは、20人たらずの小さいクラブ(最近は増加傾向にありますが、それでもまだ24～5人)でも、先程言いました通り、会員数が少ない故に色々な経験をさせて頂くことが出来る、最高の生涯学習の場ではないでしょうか。

例会場がこの場所に移つて既に11年になります(平成16年秋頃)。天野屋旅館(17年1月営業終了)の伝統と格式ある湯河原RCの例会上の雰囲気が、今風になった、一つのエポックメイキングのような出来事ではなかったでしょうか。例会場がこちらになって入会された会員の方々に、私の若年寄のような立場から、ちょっと過去を振り返らせさせて頂きました。

色々申しましたが、少なくとも私にとっては良き先輩方々・メンバーに恵まれ、なんと幸せなクラブライフを送らせて頂けているのではないかと思っております。

今後共、宜しくお願ひ申し上げまして、『私のロータリーに入って良いことだらけ・悪いことなし』の卓話とさせて頂きます。有難うございました。

